

# 相生市の文化財見学案内

## 北 部 編

相生市域の文化財の一部を、北部・中部・南部に3分割した見学案内の北部編です。

相生市ホームページから「相生市の文化・歴史」もご覧ください。

相生市教育委員会

生涯学習課

## 北 部（矢野・若狭野方面）



ハイキングコース



文化財見学コース

## 文化財の見学コース順

①瓜生羅漢石仏→②福田眉仙筆塚→③大ムクノキ→④コヤスノキ叢林  
→⑤犬塚五輪塔→⑥若狭野古墳→⑦浅野陣屋跡→⑧和泉式部旧跡碑

## 感状山城・三濃山ハイキングコース（所要時間約3時間40分）

1 感状山城跡登山口→2 感状山城跡→3 三濃山→4 研修センター駐車場

## 文化財見学コースのご紹介

### ①瓜生羅漢石仏

羅漢石仏は岩窟の中に安置されており、釈迦如来像を中心に脇侍として、文殊、普賢の両菩薩と 16 羅漢像が左右に並んでいます。由来は欽明天皇の時代、高句麗の僧である恵便、恵聡が後世衆生に石仏を刻んだといわれています。

### ②福田眉仙筆塚

明治 8 年（1875 年）9 月、矢野町瓜生に生れ、明治期から昭和にかけて活躍した日本画家の福田眉仙の筆塚です。上京後、日本美術院に入り、岡倉天心、橋本雅邦等に師事しました。その後、3 年間、中国大陸をめぐり、その成果を支那大観、支那三十畫巻として発表。晩年には湯川秀樹博士の紹介でコロンビア大学に中国三十繪巻を寄贈しました。昭和 38 年（1963 年）芦屋市六麓荘の自宅で急逝。昭和 40 年（1965 年）に相生郷土有志の手で、羅漢溪公園に眉仙筆塚を設立。題字は光専寺赤松真雄住職の筆で、生前使用していた筆十本と墨が塚に収められています。

### ③大ムクノキ

この大ムクノキは、根回り 4.8m、高さ 15m に達し、推定樹齢 600 年以上といわれ、昔この地に荒神社の森があつて、その御神木として大切に保護されたため残ったといわれています。

### ④コヤスノ木叢林

コヤスノ木はトベラ科の常緑樹で、ここ磐座神社に多く生育し、五月頃に花が咲き秋には実をつけます。西播地方と岡山県東部に生育しています。

### ⑤犬塚五輪塔

秦河勝の狩猟の際、大蛇に襲われそうになった公を助けた忠犬の供養塔といわれています。

### ⑥若狭野古墳

7 世紀ごろにつくられた方墳で横穴式石室、外護列石が現存しています。古墳からは壺、甕などの須恵器片、土師器片が出土しています。

## ⑦浅野陣屋跡

初代の領主は浅野長恒で、寛文13年（1672年）若狭野三千石を貰い分家しました。7代長発までほとんど江戸に居住し、後に若狭野陣屋に引き揚げて居住しました。陣屋建物は現在の若狭野須賀神社付近にあり、現在残されている建物は、元札座であった法界庵です。

## ⑧和泉式部旧跡碑

平安時代（794年～1185年）に有名な歌人であった和泉式部が、事情により自分の子供である小式部を京都五条に捨て、これを京に来ていた若狭野の長者五郎太夫が拾い、播磨国につれて帰り養育しました。和泉式部はのちにわが子を求めて、雨内にいたりおりからの雨をしのいで栗の木にたたずみ歌を詠んだといわれています。そののち、五郎太夫の家に宿を頼み小式部と再会し、京都へつれて帰ったといわれています。この石碑は和泉式部が栗の木に雨宿りしたといわれる場所にたてられました。

## 感状山城跡・三濃山ハイキングコース

### 1 三濃山

貞観6年（864年）秦内麻呂が祖先の秦河勝の遺跡を訪ね、この地に観音寺を建立したといわれており、また、弘法大師（空海）は矢野荘が霊地であると考え、堂宇を建立したのが始まりといわれています。その後、源義家の信仰によって大繁昌しましたが、保元平氏の乱によって諸堂宇を焼失し、現在は観音堂のみ残っています。

### 2 感状山城跡

建武3年（1336年）新田義貞の播州攻めの時に、赤松則祐がこの城にたてこもって戦功をたて、足利尊氏から感状をあたえられたので、以来、感状山城と呼ぶようになったといわれています。